

## 時代の潮流

### 1 少子高齢化・人口減少社会の進行

- ・国の人口は少子化が深刻化し減少に転じている
- ・平成 47 年には高齢化率が 33%を超え、国民の 3 人に 1 人が高齢者となる社会が到来する

### 2 安全や安心に対する意識の高まり

- ・東日本大震災は、戦後最大の被害となり、また、集中豪雨等の自然災害の脅威にもさらされている
- ・想定できなかった事件や事故が起こるなど、国民の生活への不安の高まりが懸念されている

### 3 地域の結びつきの重要性

- ・人と人、人と地域とのつながりが薄れ、地域社会からの孤立などが社会問題となっている

## 諫早市の強み

### 1 都市規模とその効果

- ・約 14 万人の人口を擁する県内3番目の都市
- ・九州・沖縄管内においても、13 番目の都市  
(平成 22 年国勢調査)

### 2 県央の中核

- ・市外から本市への通勤・通学者が多いので、昼間人口が夜間人口を上回っている(下図参照)
- ・近隣市町からの流入が多く、中核都市としての役割を果たしている
- ・交通の結節点

### 3 潜在力を有する産業

- ・諫早中核工業団地や貝津金属工業団地などを中心に県内有数の産業集積地
- ・製造品出荷額等で県下の約 21.2%を占める
- ・県下一番の穀倉地帯である
- ・特性の異なる3つの海から多様な魚種が捕れる

### 4 健康診断等の取組

- ・市民ニーズに応じた、各種健診・相談・保健予防への取組み

### 5 スポーツ施設の整備

- ・中央体育館内村記念アリーナの整備等、スポーツに親しむ環境づくりの拡充を推進

## 諫早市の弱み

### 1 人口減少、少子高齢化の進行

- ・人口は、平成 17 年からは減少傾向に転じている
- ・年少人口比率は、平成7年～22 年にかけて減少
- ・老年人口比率は、増加傾向で推移
- ・全体として少子高齢化が進行している

### 2 農林水産業・商業の活性化の必要

- ・第一次産業従事者の高齢化、担い手不足の振興
- ・市内に大型ショッピングセンターがなく、購買客が隣接市等へ流出傾向

### 3 暮らしの安全の確保

- ・台風や集中豪雨に遭いやすいため、水害や土砂災害などへの対策が求められる

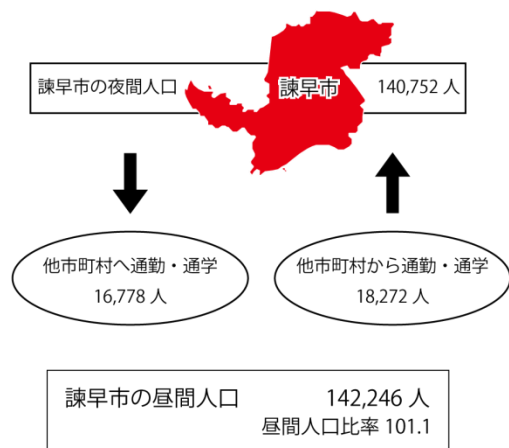
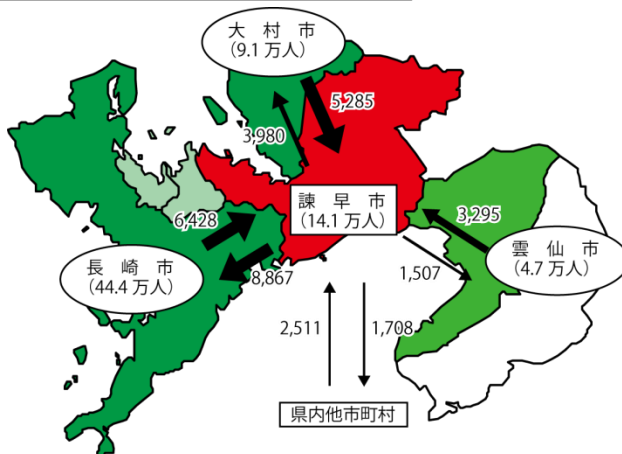
### 4 就労支援・働く場の確保

- ・事務的職業の希望求職者に対し、求人が少ない

### 5 観光施設、特産品の情報発信

- ・SNS を利用した情報発信等、時代のニーズに対応した情報発信が必要とされている

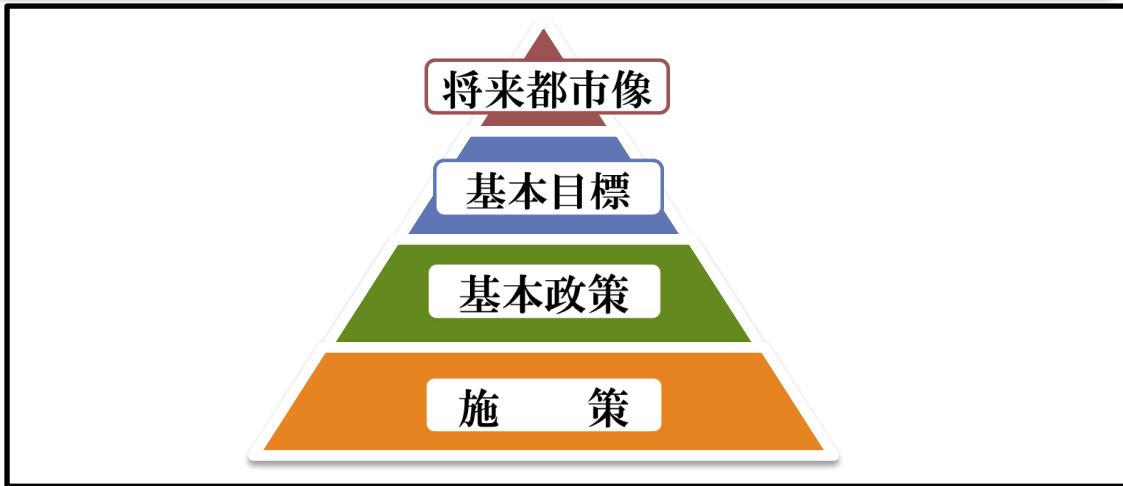
## 通勤・通学者の状況(平成 22 年国勢調査)





(案)

政策施策体系図骨子案



	基本目標	基本政策	施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 2em; font-weight: bold;">(将来都市像)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">輝く ひとづくり</p>	健やかなひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援</li> <li>◎学びと夢を育てる学校教育の充実</li> <li>◎地域で支える青少年の健全育成</li> </ul>
		こころ豊かなひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎恒久平和の推進と人権意識の醸成</li> <li>◎世代を超えて学ぶ生涯学習</li> <li>◎歴史と文化の継承・発展</li> <li>◎芸術・文化活動の推進</li> <li>◎スポーツ・レクリエーションの振興</li> </ul>
		地域で育てるひとづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎男女共同参画社会づくりの推進</li> <li>◎国際・国内交流の推進</li> </ul>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">活力ある しごとづくり</p>	地域特性を活かした農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎特色ある農業の振興</li> <li>◎豊かな森林を育む林業の振興</li> <li>◎3つの海が育てる水産業の振興</li> </ul>
		活力あふれる商工業の振興と雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎個性と魅力あふれる商業の活性化</li> <li>◎安定した雇用の創出と人材育成</li> <li>◎新たな産業活力の創生</li> </ul>
		地域資源を活かした観光・物産	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎おもてなしの観光づくり</li> <li>◎コンベンションによる交流促進</li> <li>◎ふるさとの物産づくり</li> </ul>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">魅力ある まちづくり</p>	安全なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎総合的な防災体制の強化</li> <li>◎交通安全・防犯意識の推進</li> </ul>
		安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎安心できる地域福祉</li> <li>◎健康づくりと保健・医療の充実</li> <li>◎明るく活力ある長寿社会づくり</li> <li>◎自立と共生の障害者支援</li> </ul>
		快適なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然環境の保全と継承</li> <li>◎水とみどり豊かなまち</li> <li>◎良好な市街地の整備</li> <li>◎交通基盤の整備</li> <li>◎都市機能の整備</li> <li>◎多様な地域づくりの推進</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; font-weight: bold;">市民目線の 行政</p>	開かれた行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎健全で効率的な行財政運営の推進</li> <li>◎市政情報発信と広聴活動の充実</li> </ul>	

各事業

お問い合わせ先  
 諫早市 政策振興部 企画政策課  
 電話 0957-22-1500  
 FAX 0957-27-0111  
 E-mail kikaku@city.isahaya-nagasaki.jp



# 第2次諫早市総合計画の考え方

資料No.1

諫早市政策振興部

## 総合計画策定の趣旨・役割・期間

### 1. 計画策定の趣旨

本市では、平成18年度を初年度とし、平成27年度を目標年度とする「ひとが輝く創造都市・諫早」を将来都市像に掲げ、その実現に向けて10年間の計画的なまちづくりを進めてきたところであります。

今年度、平成28年度を初年度とし平成37年度を目標年度とする「第2次諫早市総合計画」を策定するものであります。

### 2. 計画の役割・期間

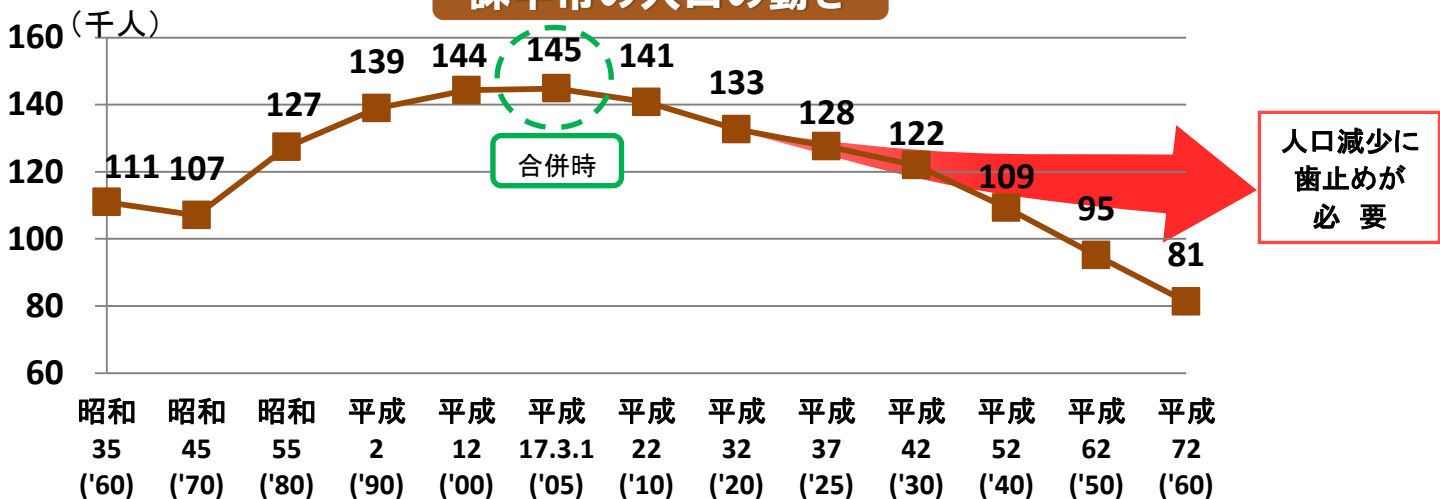
役割

・急速に進む少子高齢化、環境問題など時代的な潮流や厳しさを増す財政状況など地方を取り巻く現状を踏まえ、活かすべき地域資源や魅力を検証し、目標とする将来都市像とその実現方法を明らかにします

期間

・計画期間は10年間です 平成28年度～平成37年度

### 諫早市の人口の動き



人口減少に歯止めが必要

## 諫早市民を対象とした「まちづくりアンケート」の調査結果(抜粋)

### ■ 諫早市の取り組みについての満足度は？

【上位3項目】

- 1位 健康診断・相談、保健予防への取組
- 2位 スポーツ施設の整備
- 3位 歴史・文化財の保存、活用、継承

【下位3項目】

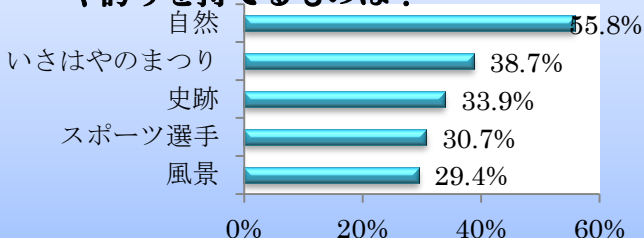
- 1位 商店街の賑わい
- 2位 就労支援・働く場の確保
- 3位 観光施設、特産品の情報発信

### ■ 諫早市の今後の取り組みの重要度は？

【上位5項目】

- 1位 就労支援・働く場の確保
- 2位 救急医療、夜間・休日医療体制
- 3位 子育て支援への取組
- 4位 犯罪のないまちづくり
- 5位 商店街の賑わい

### ■ 「諫早市らしさ」を感じ、愛着や誇りを持てるものは？



### ■ 諫早市の望ましい将来像は？

